

がん医療におけるAIの役割

近年、AIは医療画像解析において高い精度を達成し、がんの早期診断に貢献しています。また、遺伝子解析や患者データから治療計画を最適化し、個別化された治療法を提案することも可能です。さらに、AIは大規模な医療データに基づき、がんの発症リスクや治療効果を予測し、予防や治療の段階での意思決定を支援することが期待されます。本講演では、AIががん医療にもたらす様々な影響に焦点を当て、その役割と可能性について解説します。

立命館大学 理工学部 電子情報工学科 教授

講師 中山 良平 先生

(なかやま りょうへい)

2005年に三重大学大学院医学系研究科修了後、同附属病院中央放射線部で助教として2015年まで勤務。その間、2008年にシカゴ大学放射線科で客員助教として勤務。そして2015年より、立命館大学理工学部准教授として着任し、2020年同教授。その他、三重大学医学部客員教授、藤田医科大学医学部客員准教授、鈴鹿医療科学大学医療科学研究科客員教授を兼任。



日時：2024年9月6日(金)18時～19時

場所：福島県立医科大学11号館 第1臨床講義室

司会：樋口光徳先生（会津医療センター）

参加無料／事前登録不要

- ◆ がん治療に携わる医師、メディカルスタッフ及び、患者様、一般の皆様を対象に公開セミナーとして開催されます。
- ◆ 本セミナーは、『東北次世代がんプロ養成プラン』事業の一環となっています。
- ◆ 本学大学院生は、大学院授業要綱で規定する共通必修科目(規定の8)に該当します。履修票を忘れずにお持ち下さい。

【お問い合わせ】 福島県立医科大学 教育研修支援課 TEL:024-547-1095 E-MAIL:ganpro@fmu.ac.jp

【次回予定】2024年9月26日(木)18時から19時／福島県立医科大学5号館2階 第4講義室

(講師)愛知県がんセンター 血液・細胞療法部兼輸血部 部長 楠本 茂先生